

鉄骨造ワークショップ プレスト・セッション（意見交換）を開催しました！

北海道機械工業会鉄骨部会とJSCA北海道支部による鉄骨協働WGの成果として「鉄骨造ワークショップ（プレスト・セッション）」を9月18日（木）に開催しました。昨年11月15日（金）には北川組鉄工所様のご協力によりフィールド・セッションと題して工場見学とボルト締めや溶接の実体験等のセッションを開催し、その成果を踏まえて意見交換です。

当日はJSCA 会員・賛助会員、鉄骨部会の皆さんや関係者の他、会員以外の設計関係者、報道各社の皆さん38名にご参加いただきました！

プレスト・セッション・・・って、なに？・・・今回は単なる意見交換ではなく、更なる協働を継続するための意見交換と位置づけており、相互の情報提供や考え方の交流により、設計や製作業務をどう合理的に進めるか・・・まさにブレイン・ストーミングで議論を広げようという意味で（プレスト・セッション）と呼称を変えています。



Aグループのプレストの様子



Bグループのプレストの様子

JSCA 支部の宮城副支部長・北海道機械工業会鉄骨部会の北川副部会長による開催挨拶に続いて鉄骨部会から最近の鉄骨市況や今後の動向など情報をご提供いただきました。

続いて、前回のフィールド・セッション時に質問のあった丸鋼管のV形溶接による柱脚の製作について補足的に解説をしていただき、製作について溶接や組み立て、更に設計に求められる仕様との関係等について補足がされました。単に製作に頼るだけでなく設計の考え方を如何に図面で伝えるか、理解が深まったのではないのでしょうか？

プレストでは、意見交流がし易いように2グループに分かれて、溶接や鋼材の使い方など意見交換の範囲が広がりました。ファブによっても製作に対する考え方の相違や設計側意図の重要性を感じた意見交換がなされていました。プレスト・セッション後は懇親食事を開催しました。打ち解けた雰囲気の中에서도引き続き鉄骨造・溶接・設計について議論が続いており、各所で“ぶっちゃけトーク”が出るなど交流が図られました。

コロナ禍の影響などもあり足かけ7年以上掛かったワークショップの開催でしたが、今後の展開に大いに期待したいところです。



JSCA 宮城副支部長による図解検討の様子